

神戸を語る

吉行和子

民芸の若手女優として、映画にTVにと活躍めざましい吉行和子さん（作家吉行淳之介氏実妹）は、強い演技力をもった得難いタレントです。昨年末、神戸でも上演された「火山灰地」では、主人公雨宮さんの女中役「しの」に扮してのびのびとした演技で民芸フアンの目をたのしませてくれました。以下はその神戸公演の合間にうかがった吉行さんの「神戸礼讃・演劇論」――

もちろんお仕事で来るのですが神戸には、もう数回きていますねいつもギッシリつまったスケジュールでゆっくり見物する時間がすくないんですが、それでも無理して真っ先きに実行するのは、元町



と三宮へ出かけることです。別に何を買うといった目当もないんだけど、必ず足をむける習慣がついてしまいました。そして気が向けば、クツのお店をのぞいたりセーター街角のドンクでお茶とサンドキッチをいただきます。

各商店に並べられている品は、東京にはないステキなものばかりに思えるし、食べものもおいしいので神戸にくることは楽しみなんですよ。それと、いつきても感じるのは、女の方の服装がとても洗練されているということ。着てらっしゃる洋服の色がキレイだし、流行をたくみに生かしたおしゃれをなさってる方が目立つのも神戸の特色でしょうね。

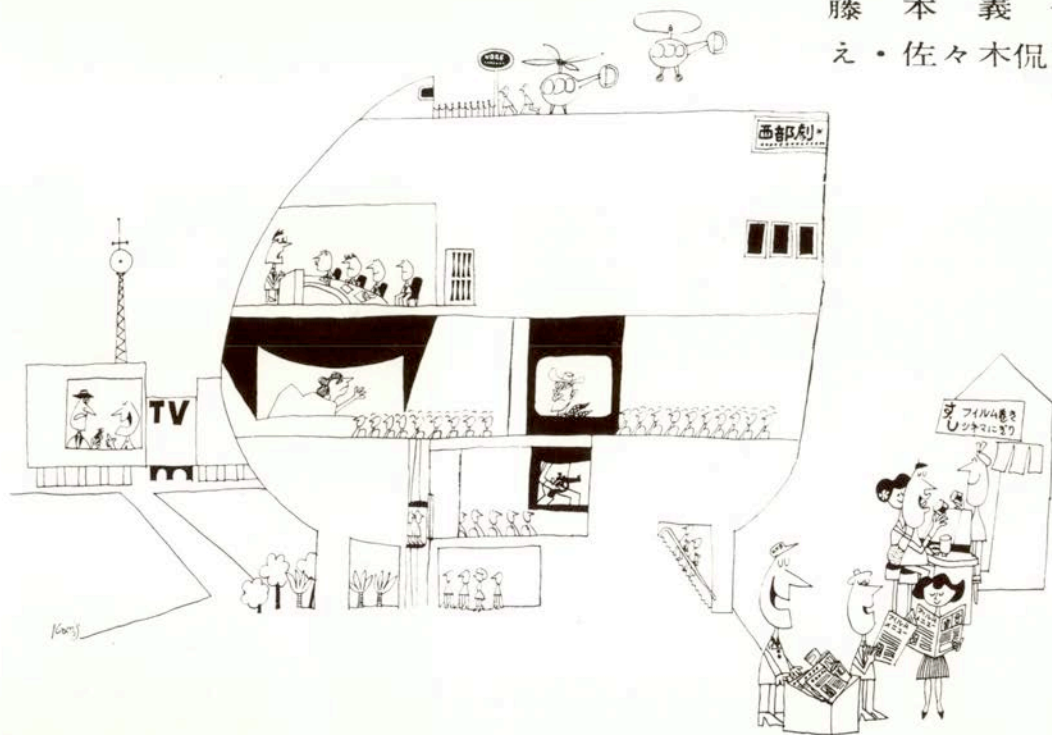
特色といえば「みなと」で眺めた外国船のズラリと並んだ風景はほんとうに壮観でエキゾチックなムードがいっぱい。民芸（研究所

時代を含めて）に入ってもうすぐ十年を数えようとしています。民芸の「犯したものを観たとき」に受けた感激が一つの動機で、研究所に入れなければ、舞台裏のお手伝いでもないから演劇の勉強をしないと当時は必死でした。だからパスした時の喜びは忘れられません。初舞台は何かと話題になった「アンネの日記」です。映画は日活の「才女賢氣」「にいあんなちゃん」「町にアドバルンがある時」「この若さある限り」などです。舞台でも映画でも、一生懸命に働いている女性といった役が一番好きです。また同じ職業の方では、自分を飾らないで一生懸命やってらした方たちをほんとうに心から尊敬しています。今年もがんばります。

（写真は国際会館エメラルド・パラーで語る吉行さん）

神戸だからえがく夢 No. 3

藤本 義一
え・佐々木侃司



神戸フィルムスーパーホール完成!

全国からの愛好者の為にヘリコプターサービス、
ホール内にスクリーン学会を新設、
フィルムスーパーホール会員は5割引、
特別会員には裏口、ロハエレベーターサービス、

フィルムメニュー紙発刊!

最高の売れ行き!

神戸すし屋協会はフィルム巻き、シネマにぎり、シネラ
マ五目ずしを発表、神戸すしファン一挙にカクトク、
テレビ視聴率ゲン退の兆し
あるTV局は殺し屋をやとう! えらいことになってきた

シネマ 族奮起せよ

東京・京橋の国立近代美術館には付属のフィルム・ライブラリーがあって、邦画洋画を問わず数百年の所蔵品をもっている。これを毎週、愛好者に観せている。私も4年ばかりまえ、松竹映画の記念すべき作品、小内山薫の「路上の靈魂」を見た。ドイツ映画「カリガリ博士」から「ジークフリード」をはじめ戦前戦後の代表作がスクリーンにかかる機会をもっている。同じ税金を払っていて、なぜ東京都民だけにそんな特権を与えているのか。

ところでこのフィルム・ライブラリーですら外国にある映画博物館のそれにくらべると段違いの貧弱さ。これには映画製作会社のタスマンもせめられるが、いまそれをいってもしまらぬ。それよりも注目したいのは、東和映画で知られた川喜多長政、かしこ夫妻の令嬢和子さんが、名作映画のコレクトに目を向けてきていること。さらには東宝がつい最近、森岩雄氏の発言にもみられるように「シネマ・ギルド・シアター・システム」の実現を計っている事実である。せっかく外国から入ってきていながら、芸術作品や実験的な前衛作品が興業的に危ぶまれる理由でオクラになったり、国内でつくられた六社以外の作品が陽の目をみななかったりの現状だが、そ

うした注目作品を選んで全国三十分ほどの特定上映館で映画愛好者に見せようというのである。ところがこれにしても、まず東京都テスタ館をつくり、おいおい主要都市に拡げていこうというのだから、神戸でこの運動が花ひらくのは今の計算でいくとまだ数年はかかりそう。さて、ここで、かつての映画批評はなやかなりし神戸をふりかえってみよう。

神戸で映画界が業界、フアンとも黄金時代を築いた昭和初年は関東大震災でいっさいの市場を失なった映画配給社が洋画邦画ともに関西へその基地を移した結果であった。のちに松竹少女歌劇の本拠、大劇の支配人をつとめた柳三郎氏がまず最初のフアン雑誌を出し、柳原生まれで新映画「フォアイエ」の会を世話していたその人こそいまはテレビ映画「ララミー牧場」のあとワクで「西部劇裏話」をやっているニギニギのおじさん淀川長治氏(映画評論家)昭和23年から4年頃、酔って新橋駅ホームから落っこち、列車にひかれて死んだ大町青磁氏は、これもまた雑誌「夜の神戸」を出していた。やがて上京してキネマ旬報の編集にたずさわったジャヤナリスのちの東和映画宣伝部長菅見恒男氏は東京で震災に会い当時、北野町あたりで料理屋をしていた父

をたよって神戸へやってきた。そしてこの地で「キネマニュース」の編集に当たったのである。外国映画の配給社のほとんどは神戸港から税関を通って輸入されるフィルムを扱うために日本支社を神戸においた。NCC営業部長であった中西一夫氏、コロンビア関西支社宣伝部長の浅野秀治氏、帝キネ支社宣伝部長の寺井一夫氏、現在は日劇ミュージックホールでストリップ・ガールに囲まれて悦にいつてる丸尾長顕氏は当時、宝塚で、「歌劇」の編集に当たっていたし、内海重典氏は「キネマクラブをめぐる会」に、また高木史郎氏も神戸で活発な動きを見せていた。いまま京都におられる村上忠久氏朝日テレビの重役におさまっている原清氏兵庫の植木屋の息子の雑誌寄稿からついには大阪松竹座の初代宣伝部長となった岡崎茂一郎氏(故人この人は「絶賛」という言葉の生みの親)、などが神戸で口々に映画芸術の花を咲かせていた。そんなユイシヨある神戸の街にいまは閑古鳥がいない。

いまも続いて「スクリーン」などに批評を書き続けている杉山一平氏、戸田隆雄氏をはじめ、橋元正一氏、改田博三氏ほか7、8人も映画批評家を容易にこの裏さごとができるのに、神戸のこの裏さびれた光景はどうだろうか。戦後数年間は神戸でしばしば開かれていた試写会にも、いまでは大賑へ出かけて見なければならなくなった。映画企業家は神戸の映画批評家を八たのむにたらずVと思いはじめたのだろうか。ここいらでみなさんの奮起を求めたいものである。映画の批評世界でも輝かしい過去をもつ神戸のために

DIAMOND



ダイヤ
メキシコオパール
オパール
猫目石スターサファイヤ
エメラルド・ルビー・サファイヤ
ヒスイ

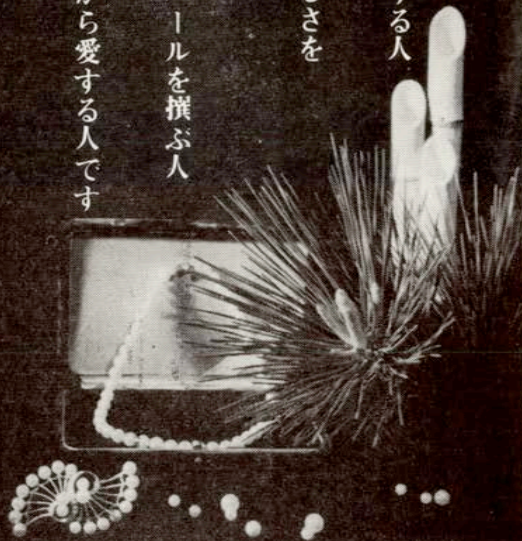
世界の
宝石を
結集した

宝石輸入商・宝飾店

タヅマ

神戸・元町2丁目
TEL ③ 0387・2552

真珠を愛する人
それは
真珠の美しさを
もった人
そして
タサキのパールを撰ぶ人
それは
真珠を心から愛する人です



神戸・三宮駅前 新聞会館内
田崎真珠店

TEL (22) 5646



映画戯評

ガールハント

森 春 二

近代の科学の発達には、まったく恐るべきものがあります。ひと昔前には、月ロケットなんて夢物語りじゃあなかったでしょう。か例のミサイルっていうのも、すごく性能がすぐれているものが出てきたとやら、これに核弾頭をつけて数発ぶっぱなすと、地球上の人間どもは、おおかた死にじまうそうなので……いやはや、当節はまったく、ぶっそうで住みにくい世の中になったもので……。

ところで、新春公開された映画に「ガー・ルハント」てえのがござえやす。アメリカはMGM映画会社の産でずいぶんとゴキゲンな青春喜劇といったところなんです。ありきたりのドタバタだけじゃあなく、ともすれば、軍事面ばかり偏重して発達、ぶっそうな住みにくい世の中をつくる近代科学のあり方に痛烈な批判をきかせたもので、ちょっと胸のすく一編です。つまり、ミサイルのオシリを追いかけて回している電子頭脳を使つてたまにはルーレットの玉や女の子のオシリを追っかけてみよというのがこの映画の奇抜なおもしろい趣向。まあ、なんですなあ近代科学兵器の平和利用ってえとこるですか。これをアメリカの海軍さんにやらせるってえ設定は、なかなかハリウッドらしい反逆精神じゃあないですか。この戦略兵器の平和利用の発案者というのが海軍大尉のステイブ・マックイーン。

この先生、どこかでおみかけしたと思つたら、あの坊主頭のエル・プリンナー主演の映画「荒野の七人」という西部劇にでてきたシブイご面相の男。西部劇ではいい味をみせたが、ガラリとちがったこの青春喜劇でもけっこう楽しませてくれる。このほか、近く公開される「キング・オブ・キングス」に登場する、いま、もっぱらの評判のテイーン・エー・ジ・スター

ブリジッド・バズレンがマックイーンの恋人役に「ボーイ・ハント」で売り出したジム・ハットンとポーラ・ブレンティスらがマックイーンの相棒で出演、まずは、おなかの皮をよじらせてくれること受けあい。

まあ、なんですなあ、競馬競輪をはじめマジャンやパチンコでざくざくもうけたいたがたや彼女の本心をよみとりたいかたがたは、この映画をみて電子頭脳の使い方を研究なさるんですなあ。えっ、なんですって、おかみさんのヘソクリのあり場所を知りたいって……それくらいなら朝メシ前まあ、とにかく近代科学の発達のおかげで住みにくくなった世の中を、逆に近代科学の生んだ利器を使って大いに楽しみたいとはそうってんで、みていて痛快です。軽いタッチでソツなく見せるところはリチャード・ソープ監督の腕前。
(神戸新聞学芸部)



WINTER FASHION

冬の装い



冬の町に着る

二人で楽しいショウ
ピングー——彼はツイ
ードのオーバに合わ
せてチェックの素的
なマフラー、わたし
はシックなハンドバ
ックを買いました。

ハンドバック専門の店

ジラサ

元町二 (3)〇八三

ここは新しいファッションの中心

トレイ洋装店

新聞会館1階②二八一八

紳士服

三恵洋服店

元町四 (4)七二九〇

紳士服

スコッチ

センター街③五〇四一
山手店・モダン寺西
④一七三二



冬のいこいの

夜に着る

楽しい夜のひととき
 大胆なダイヤ模様の
 セーターの彼と微笑
 みかわすわたしの衿
 元にイタリアン製の
 スカーフがあつたか
 い。

男子洋品の店

フナキヤ

元町三 (3) 三六七

紳士洋品の店

サカエ

元町二 (3) 五二二三

お部屋の装飾アクセサリー

芸がいむ夢

トアロード (3) 二二九三

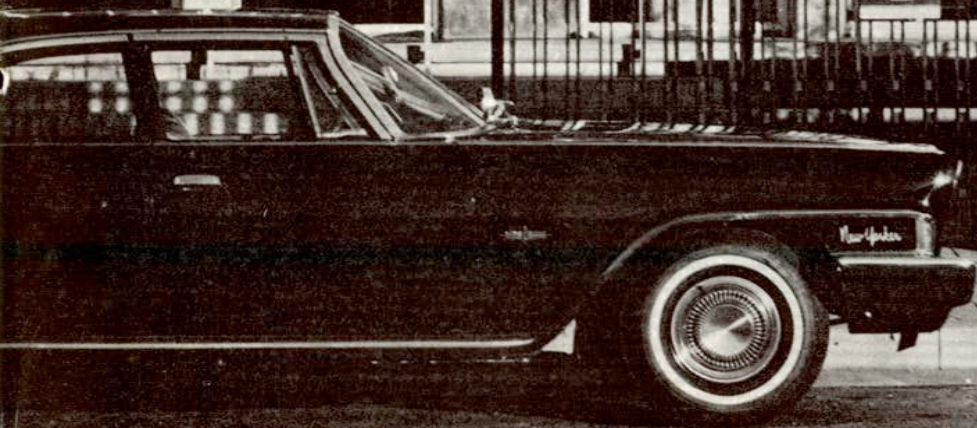
輸入婦人服地雑貨の店

**エスター
 ニュートン**

トアロード (1) 一八二八



luxurious Chrysler... every one a Chrysler's worth
—no jr. editions to compromise your investment!



オーサカ・インターナショナル
オートショー

とき 1月26・27・28日

ところ 国察見本市港会場
出陳車50輛 参加国7カ国

'62年型輸入外車
一般用入札販売

来る2月12日(予定)東京と大阪で行なわれることになりました
応札ご希望の方は当社へお申しつけください
れば必要資料を取り揃えご便宜おはかりいたします
なお入札は一回きりであります

落札予想価格

インベリアル・レパロン4扉ハードトップ
850万円

クライスラー・ニュー Yorker 4扉セダン
700万円

クライスラー・ニューポート4扉セダン
500万円

プリムス・フェーリーV8 4扉セダン
219~328万円

バリエントV-200 4扉セダン
236万円

カタログご入用の節は下記へどうぞ、

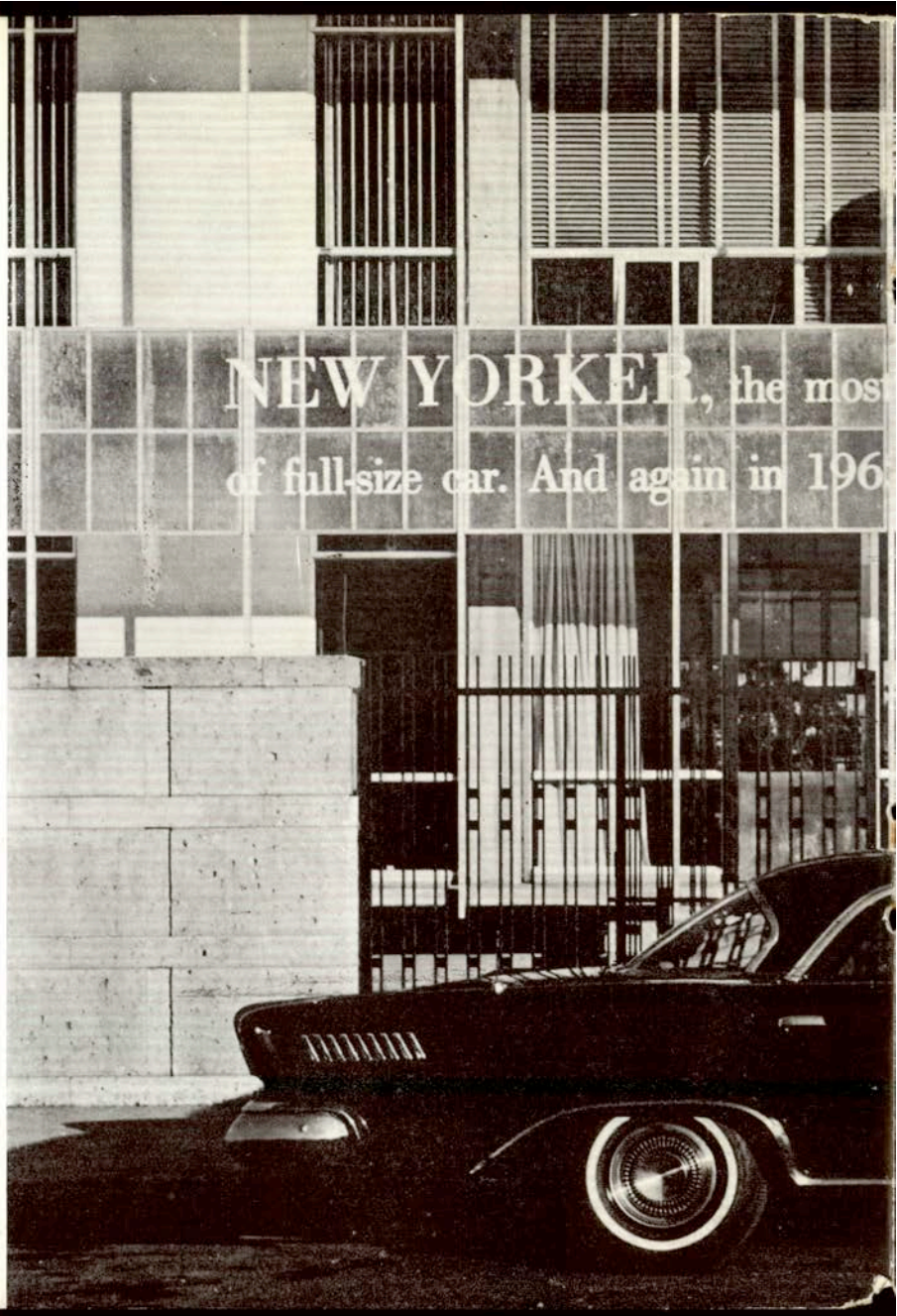
インベリアル/クライスラー/プリムス/バリエント
西日本総販売店

神戸いすゞ自動車株式会社(外車部)

神戸市葺合区雲井通4丁目

TEL (22) 4751

NEW YORKER, the most
of full-size car. And again in 196





元旦はみんなそろって生田神社へ初もうで。

式服一式

中川

貸衣裳店

東店 せこう前センター街
 入る浜側

西店 上沢七丁目電停上る

③七五二四
 ③五八五五
 ⑤〇六八〇

お菓子

二つ茶屋

神戸元町三
 電③〇七五五七

割烹
 壽し
 三福

神戸阪急三宮東口山側

③三二九八

神戸新聞会館地下

②五六四五

シヨールと洋傘の店

いしだ洋傘店

③三宮本通り二
 二一六五



日本のお嬢さんの訪問をうけてよろこぶジア君。

すてきな年におくる
アラセサリとエト品

イクシマヤ

元町一 (三) 二四二五〜六

男子洋品の店

神戸屋

元町二 ③二五八九

時計・宝石・貴金属

美田時計店

元町三 ③一七九八

舞扇
仕舞扇

富田屋

元町四丁目
④六九二七



お姉さんもお友達もみんな神戸っ子 カルタ取りはジヤ君がチャンピオンです。

楽しい
オモチャの店

キヨシマ屋

④ 元町二丁目
三二四九

冬の季節に
楽しいオシャレ
男子洋品店

千秋堂

元町四 ④六九五九

電化ストアー

元町電機

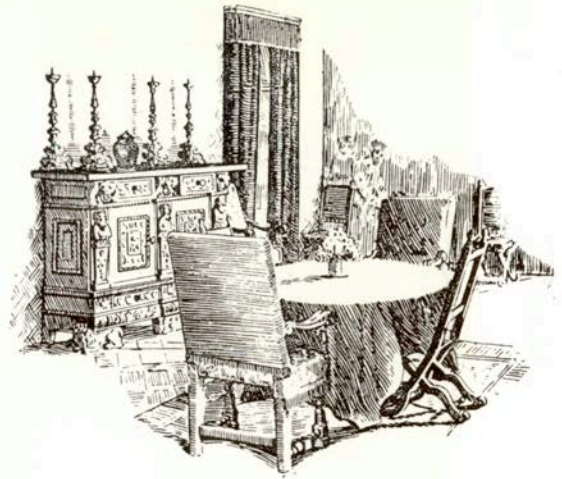
元町六 ④三七〇一五

洋酒の店

あぶはち

④ 元町二丁目
二七九八

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

大丸前 TEL { ③ 5 5 2 0
 ③ 1 2 9 0

呉林陳穢

みよこ也

神 戸 大 丸 前
電話神戸(3)三三八八〇九番
大 阪 店 阪 神 百 貨 店 三 階
電話大阪(3)五五四八番
姫 路 店 や ま と や し き 百 貨 店 三 階
電話姫路(2)一二二一番